

DNTコーティング技報 No.23

CONTENTS

- SDGsに貢献するコーティング技術開発 1
- 技術報文(Technical Reports)
 - 1. シラン・ふっ素複合系含浸剤の開発と性能評価 2~8
Development and Performance Evaluation of Silane・Fluorine Composite Impregnants
 - 2. 自動車外装水性ベース塗料の開発 9~15
Development of Water-based Base Paint for Automotive Exterior
- 技術解説(Technical Reviews)
 - 1. 中国市場向け切削プライマーの開発(GB対応) 16~19
Development of Cutting Primer for the Chinese Market (Responding for GB Regulation)
 - 2. 高機能・高耐久を有する高意匠サイディングのメンテナンス 20~24
Maintenance of Sophisticated siding with High Functionality and Durability
 - 3. 迅速・簡便な研究用試薬「細胞外小胞用イムノクロマトキット」 25~35
Development of a Quick and Easy Research Reagent Set "Immunochromatographic Kit for Extracellular Vesicles"
- 新商品紹介(New Products)
 - 1. 厚膜形焼付用変性エポキシ樹脂下塗塗料「AFプライマーGP」 36~37
High Build Type Baking Modified Epoxy Resin Coating 「AF Primer GP」
- 学協会研究発表・技術講演・論文投稿者名と発表タイトル 38~39
(2022.7~2023.6)

SDGs に貢献するコーティング技術開発



執行役員
技術開発部門長

佐野 秀二

DNTコーティング技報No.23を発刊するに当たり一言ご挨拶申し上げます。

WHO(世界保健機関)は、2020年1月に新型コロナウイルスの感染拡大を受けて出していた宣言「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を本年5月5日に終了し、国内においても新型コロナウイルス感染症の位置づけは「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」上の2類相当から5類感染症に引き下げられたこともあってか、海外からの観光客も増加し町に活気が戻ってきたように感じられます。

一方で、世界各地での異常気象による洪水・干ばつ・猛暑・森林火災などは私たちの生活に脅威をもたらしております。異常気象の原因の一つとされているのが温室効果ガス排出量の増加による地球温暖化で生じた地球規模での気候変動です。

上述は持続可能な開発目標、SDGs(Sustainable Development Goals)にも関連するものであり、弊社はSDGsへの貢献をコンセプトとしたコーティング技術開発を行っております。例えば、建築・構造物分野においては高耐久性塗装仕様の提供により、塗り替えを要するメンテナンスの回数を減らし、有害化学物質(塗料から発生する揮発性有機化合物が大気中で化学反応を起こすことによって発生する微小粒子状物質を含む)の発生の低減、ならびに各資材の輸送に要するエネルギーの削減に貢献できます。また、水性塗装仕様の提供により、有害化学物質低減や溶剤削減による低炭素化に貢献できます。

本誌でご紹介する報文、解説においてもSDGsに貢献できるコーティング技術開発として、強靱(レジリエント)なインフラ構築に貢献できるコンクリート構造物の耐久性向上や、有害化学物質の使用量・発生量の削減に貢献できる水性塗料やハイソリッド塗料、また、コーティング技術の周辺技術である金属ナノ粒子を用いた人々の健康的な生活の確保に貢献できるがん早期診断に繋がる技術をご紹介させていただきます。

今後も、革新的なコーティング技術開発とその周辺技術開発を推進し、社会的な課題の解決に取り組んで参りますので、皆様には何卒一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。